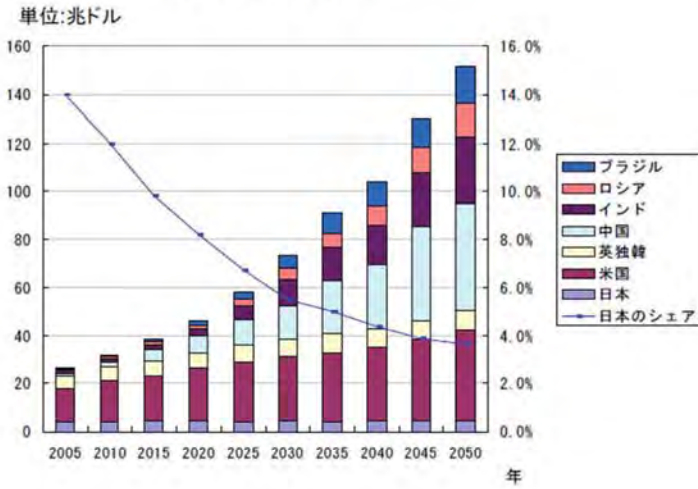
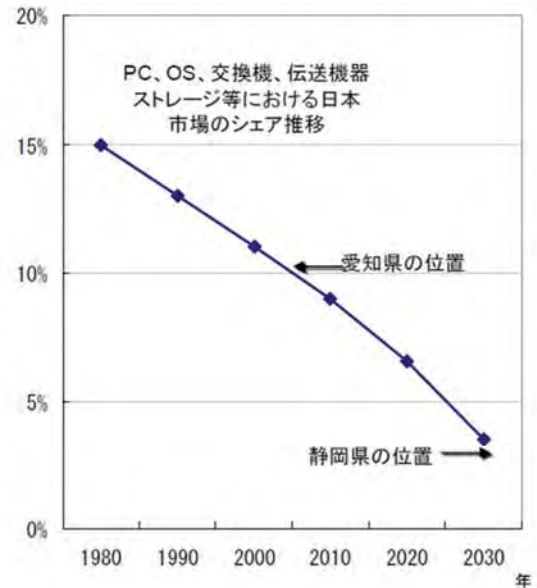


日本のICT産業の世界市場におけるシェアは、日本における愛知県のシェア（10％）から静岡県シェア（3％）に近付いている。

世界のGDP長期予測



世界のICT市場における日本市場のシェア例



ICT産業の日本シェア

デジタル化が遅れた分野ほど日本が強い。

事務機、ゲーム機、電子部品分野 (MPU、メモリ以外) の競争力は依然として高い。

日本企業の国内市場、世界市場でのシェア (2009年)

		日本企業の日本国内市場シェア		
		70%超	30~70%	30%未満
日本企業の 世界市場 シェア	40%超	コピー機、ビデオカメラ 家庭用ゲーム機 光通信部品		
	20~40%	液晶TV、デジタルカメラ プリンタ オプトエレクトロニクス部品		
	10~20%	ノートPC 携帯電話端末、DWDM等光幹 線伝送 ATM(金融)、カーナビ	半導体メモリ	
	3~10%	アクセス光伝送 携帯電話基地局 DVDレコーダ	PDA ストレージ PC	MPU
	3%未満	BPO	サーバ ルータ WS	LANスイッチ OS アプリケーションソフト

世界市場での  
リーダー

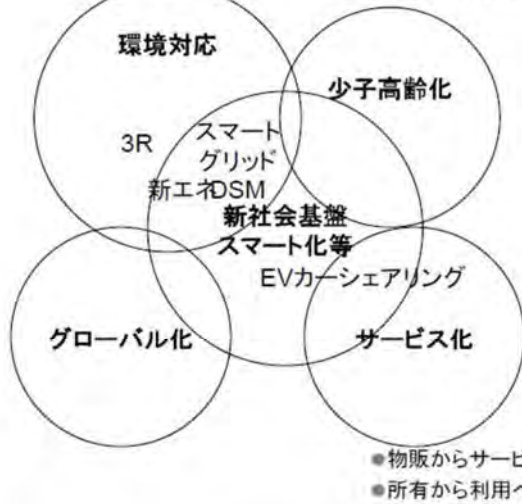
世界市場での  
限界プレイヤー

日本市場での  
リーダー

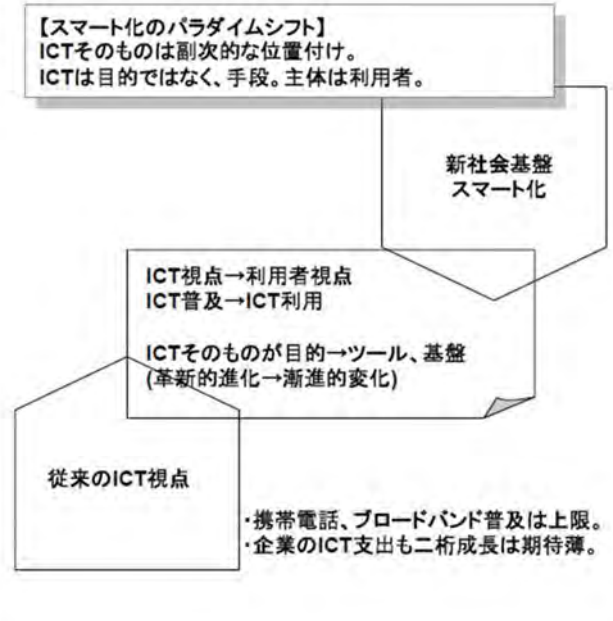
現在は、ICT産業の転換期である。そのため、手段、サポート役として社会基盤を支えることで、ICTの成長戦略を模索すべき。

社会における課題とICTの関係

- 環境負荷、排出削減のための需給調整、制御
- 新エネルギー導入の最適化
- 人口増、成長を前提としないビジネスモデル追求。
- 新産業創出(ヘルスケア等)と住宅、エネルギー、自動車等の業際境界領域開拓。



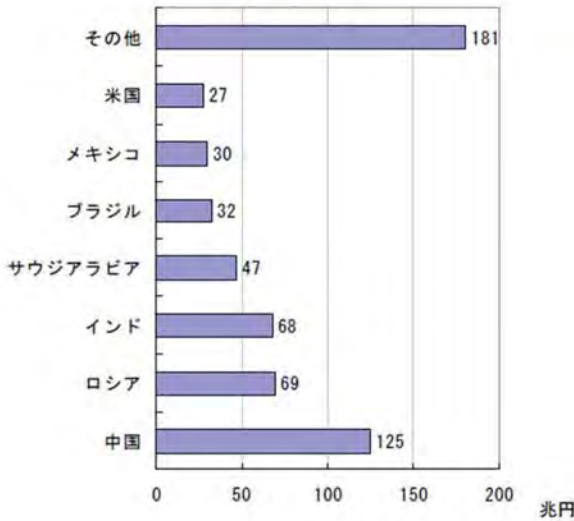
新社会基盤/スマート化とICTの関係



出展:「ICT産業の国際競争力強化に向けた提言」参考資料 (株)野村総合研究所 2010年5月  
[http://www.nri.co.jp/opinion/r\\_report/pdf/201005\\_jouhou\\_tsushin\\_2.pdf](http://www.nri.co.jp/opinion/r_report/pdf/201005_jouhou_tsushin_2.pdf)

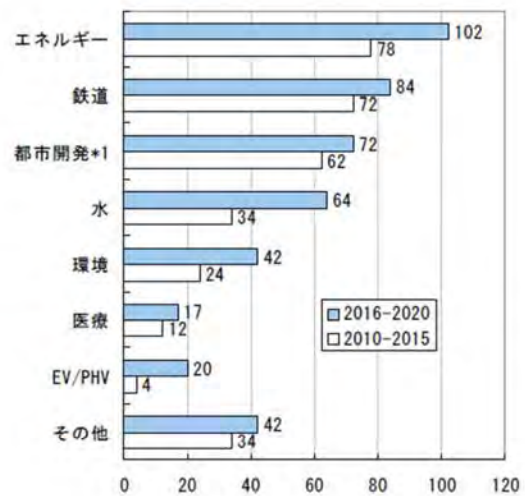
新興国、グローバル視点での社会基盤強化が必要。  
 海外の社会インフラ投資計画は、BRICsを中心に579兆円にも上る。

主要国別社会インフラ投資計画  
2010-2020



出所:各種資料より作成

主要分野別社会インフラ投資計画  
2010-2020



出所:各種資料より作成

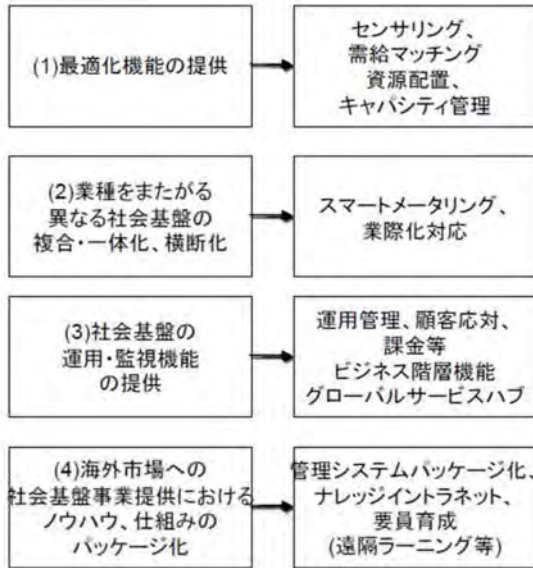
\*1:他分野と一部重複  
 総和は国別と一致しない

出展:「ICT産業の国際競争力強化に向けた提言」参考資料 (株)野村総合研究所 2010年5月  
[http://www.nri.co.jp/opinion/r\\_report/pdf/201005\\_jouhou\\_tsushin\\_2.pdf](http://www.nri.co.jp/opinion/r_report/pdf/201005_jouhou_tsushin_2.pdf)

社会基盤（構築）におけるICTの役割

最適化、複合・一体化、運用・監視、ノウハウ・仕組みパッケージ化等が課題。  
いずれも通信ネットワークを前提とする。

社会基盤（構築）におけるICTの役割



各分野におけるICTの役割

分野	スマートグリッド・ハウス	スマートモビリティ	鉄道	水	医療	環境その他
ネットワーク機能	ピーク時対応蓄電 DSM	配車・位置管理	運行管理	処理プラント、流量予測	大規模医療記録 在宅・遠隔診療	
	広義のスマートグリッド 住宅・電力・自動車 スマートメータリング 都市・都市交通一体整備 ローカルハブ(現地)とグローバルハブでの運用・監視体制					
ナレッジイントラネット		シェアリング	運行、車両、駅舎管理等	プラント運用全般	診断、医療情報、医業従事者管理	